

この企画展の一部は、平成29年度文化庁文化芸術振興費補助金（地域の核となる美術館・歴史博物館支援事業）による助成を受けて実施するものです。



明日につなぐ 気仙の たからもの

津波で被災した
陸前高田資料を中心に

東日本大震災発災から7年、
絶え間なく続けられている
被災文化財の再生作業。

それは、地域の歴史を、
文化を、明日につなぐ仕事です。

この展覧会では、気仙地方
とりわけ陸前高田市に伝わる

貴重な被災文化財に視点を当て、
試行錯誤しながら構築された

安定化処理方法や、
被災資料が携えてきた

未来へのメッセージを紹介します。

平成30年
3月3日(土)～3月28日(水)

開館時間：9時30分～16時30分（入館は16時まで）

休館日：月曜日

入館料：一般310円（140円）、学生140円（70円）、
高校生以下無料※（内は20名以上の団体割引料金）

主催：津波により被災した文化財の保存修復技術の構築と
専門機関の連携に関するプロジェクト実行委員会、
岩手県立博物館

会場：岩手県立博物館
住所：〒020-1010 岩手県盛岡市上田字松屋敷34
電話：019(661)2831
ファクス：019(665)1214

岩手県立博物館



展示構成と主な展示資料

1 気仙の記録をつなぐ

被災文化財救援活動において最初に救出された吉田家文書。その現状と構築された安定化処理方法の概要を紹介します。

吉田家文書「定留」(岩手県指定文化財)、気仙隕石の破片他

2 東日本大震災発災から7年

被災文化財再生の歩みを、映像で紹介しします。

3 気仙のくらし

産金、漁撈、年中行事(ひな祭り)の様子を、実物資料とイラストで紹介しします。

光勝寺 木造阿彌陀如来坐像(岩手県指定文化財)、陸前高田の漁撈用具(国登録有形民俗文化財)、高田人形他

4 失われた気仙の景観

明治時代の気仙を描いた蓑虫山人。その作品とともに、高田松原の震災前後の状況を写真で紹介しします。

蓑虫山人「気仙郡日記」、高田松原関係自然史標本他

5 再生された絵画

水彩画と油彩画それぞれについて構築された脱塩処理方法を、再生された作品とともに紹介しします。

猪熊弦一郎「ネコと頭」、吉田啓一「冬の松原」、吉田郁也「ゴルフフェーズダイアリー挿絵原画」他

関連イベント

1 安定化処理実施者を交えてのギャラリートーク

・日時:3月3日(土) 11時~11時50分

・場所:2階 特別展示室

・内容:実際に資料の安定化処理を行った東京国立博物館、女子美術大学、NPO-JCP、陸前高田市立博物館、岩手県立博物館に所属する専門の技術者が、資料と処理方法について解説しします。(当日受付、要入館料)

2 音の再生に成功したリードオルガン演奏会

「天に響け 陸前高田 奇跡のオルガン演奏会」

・日時:3月3日(土) 14時~16時

・場所:地階 講堂

・定員:140名(要整理券、鑑賞無料)

・内容:アルバム「天に響け」収録曲を中心に歌とヴァイオリンで綴る約2時間の構成です。

・オルガン:中村由利子氏(作曲家・ピアニスト)

・歌:白鳥英美子氏(歌手)

・ヴァイオリン:伊禮しおり氏(遠野市在住)

※整理券は2月27日(土) 9時30分から当館受付で配布しします。(お一人様一枚まで)

3 平成29年度大津波プロジェクト主催支援シンポジウム

「連綿と続く被災文化財再生の歩み—博物館復興をめざして—」

・日時:3月11日(日) 10時~16時(9時30分受付開始)

・場所:地階 講堂

・定員:140名(当日受付、聴講無料)

・内容:発災から今まで連綿と続けられてきた安定化処理の現状と課題を報告し、被災文化財再生の意義を解説するとともに、被災した博物館の復興を果たすうえでの課題について考えます。

「テーマ1 被災文化財再生の意義」

半田昌之氏(公益財団法人日本博物館協会)、神庭信幸氏(前東京国立博物館)

「テーマ2 被災博物館資料再生の現状と課題」

土屋裕子氏(東京国立博物館)、赤沼英男、鈴木まほろ(岩手県立博物館)

「テーマ3 再生された資料の活用と確立された安定化処理技術の普及」

水村伸行氏(福井県立歴史博物館)、長谷川賢二氏(徳島県立博物館)

「テーマ4 海を越えた絆の形成」

デニー・ギュリック氏、フランシス・ギュリック氏(米国メリーランド大学)、

宮川治代氏(前米国バーミングハム公立図書館)

「天に響け 音の再生に成功したリードオルガン演奏」

奏者:中村由利子氏、解説:神庭信幸氏

「被災地からのメッセージ」

被災資料再生への取組みと博物館復興をめざして」

本多文人氏(陸前高田市立博物館)

4 特別講演会

「ふるさととは負けない—けんか七夕祭りに掛ける復興の願い—」

・日時:3月18日(日) 13時30分~15時

・場所:地階 講堂

・講師:河野和義氏(気仙町けんか七夕祭り保存連合会名誉顧問)

・定員:140名

(当日受付、聴講無料)

5 展示解説会

・日時:3月10日(土)、3月24日(土) 各14時30分~15時30分

・場所:2階 特別展示室

・講師:小野寺俊彦、赤沼英男(岩手県立博物館)

(当日受付、要入館料)

6 県博日曜講座

「「どげ」って何ですか—気仙地方の婚礼習俗—」

・日時:3月25日(日) 13時30分~15時

・場所:地階 教室

・講師:小野寺俊彦(岩手県立博物館)

・定員:40名

(当日受付、聴講無料)

交通アクセス

路線バスをご利用の場合

盛岡駅前11番のりば、または盛岡バスセンター12番のりば(ななっく前)発、基幹バス「松園バスターミナル」行または「松園営業所」行に乗り、「松園バスターミナル」で支線バスに乗り換え、「県立博物館前」下車、徒歩約5分。「松園バスターミナル」から県立博物館までは徒歩約20分。

お車をご利用の場合

東北自動車道 盛岡ICから約30分、

東北自動車道 滝沢ICから約20分

